

タイトル:平成 24(2012)年度 教育セミナー

日時:平成 24 年 9 月 14 日(金)~17 日(月・祝)

場所:東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究 3 階 マルチメディア会議室(304)

「在日インドネシア人ムスリムの宗教生活に関する社会学的考察

—国際結婚をしているインドネシア人ムスリムへの聞き取り調査に基づいて」

ハリチハン パタル (大阪大学大学院博士後期課程)

このセミナーに参加したきっかけは、指導教師の紹介でした。参加費も無料で、中東、あるいはイスラームに関する様々な分野の講師陣の講義を聴くことができることとその分野で研究されている先生や大学院生達と知り合い、交流できるというのは魅力的であり、すごく楽しみにして待って、出席させていただきました。

大阪から夜行バスに乗って東京に行って出席し、東京で毎日片道 2 時間以上の場所から教室に通学し、体力的に大変疲れましたが、非常に有意義なセミナーだったので、大変満足しております。とても優秀な先生や大学院生達の発表やコメント、質問応答を聴いたり、一緒に昼食しながら、皆で囲んで様々なイスラーム関係国の言語、経済、政治などの話を聞いたりして、三日間はあっという間に過ぎてしまって、せつかくですから、できれば一週間にしていただければ良かったのと思いました。もちろん東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所やスタッフ様達は一生懸命企画、実行していただきました。中で衝撃的な発表や興味深い発表を聞いて、大変いい勉強になりましたし、ずっと忘れられません。

9 月 17 日の午後 40 分という時間の中で修士論文要約を発表し、受講生や講師陣、AA 研のスタッフに貴重なご指導やコメントをいただき、大変いい勉強になりました。セミナーの後は、非公式の飲み会も含め先生方と一緒に食事したのが 1 回だけですけど、中東、イスラーム研究者業界の話に始まり、先生方の研究のきっかけや研究秘話などを伺うことができ、また今後の研究をする上でのご指導やアドバイスもいただきまして、とても面白かったです。

このような貴重で面白いセミナーを企画、実行していただきました東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所やすべてのスタッフ達に感謝しております。どうもありがとうございます。

今回のセミナーで感謝するもう一点は、イスラーム教徒の私たった一人がいるにも関わらず、希望に応じて、わざわざイスラーム教徒も食べられる昼ごはんを提供していただいたことです。さすがイスラームセミナーですね。MashaAllah.